

女性フォーラム 3回シリーズ終了

連合群馬女性委員会は、女性役員リーダーの育成や役員に立候補できる環境作りの一環として、参加者がステップアップすることを目的に昨年11月から3回シリーズで女性フォーラムを開催してきました。

各ステップはグループディスカッションが中心で、Step1では、高崎経済大学塩田教授の講演を通して労働組合が抱える課題や女性が参画する必要性などの提起を受け、自分たちの置かれている環境や問題点について討議し、認識を共有化しました。

Step2では、組合活動への女性参画の必要性、女性自ら参画するための障害・その解決方法は？といったことを討議し、参画意識を高めました。

そして、7月12日(土)に開催された最終回となるStep3では、各構成組織で活躍されている女性役員の方々から体験談を発表してもらい、

その後「問題を抱えたときの解決方法」、「今後がどうあるべきか」などをテーマに話し合いました。

全3回シリーズを通して、「女性役員がもっと活躍するためには、まだまだ多くの障害が残っている。まずは組合に対する女性の意識が変われば、男性も社会も変わっていくはず！」との思いを共有化し、今後の活動に活かしていくことを確認しました。



グループディスカッション風景



▲国公総連
全農林中毛統計分会
宮澤女性部長



▲UIゼンセン同盟
群馬ナイロン労組
中村書記長



▲自治労 高崎市役所職員労組
秋谷委員長



▲全国一般 恵風会労組 中村書記長



▲電機連合
三洋労組ハイテック支部
斉藤執行委員

体験発表していただいた方々

群馬高退連 第10回 宿泊学習会

明治の父 小栗上野介は

悲劇の人



群馬高退連は7月9～10日、猿ヶ京ホテルコープシャトゥにおいて、県内13組織から120名が参加する中、第10回宿泊学習会を盛大に開催しました。

学習会は2部構成で行われ、第1部は健康づくりをテーマに「魚の薬効で病気を防ごう」など三本のビデオを観賞。第2部では、日本文芸家協会の作家・清水昇先生を招き、郷土に関係の深い「小栗上野介」の講演を受けました。「明治の父、小栗上野介は鉄道・製鉄・郵便制度といった文明開化の先駆者としての功績を持つが、幕府に仕えていたがために、倒幕軍の追討令によって悲しい最期をとげた悲劇の人物でもあった。」との逸話をテンポの良い口調で語っていただき、参加者の興味は尽きない様子でした。

